



かすがい どこでも アート・ドア 出前授業 【音楽・図工・美術】

◆ 応募について (令和8年度実施分／令和8年5月～令和9年3月)

応募締切：令和8年 3月6日(金)

※応募締切後に各所調整の上、4月上旬までに派遣先とアーティストを決定し通知いたします。

※お申込が少ない場合、年度途中に追加で実施することがあります。

期限を過ぎても随時ご相談ください。

申し込み方法：「専用フォーム」からお申込みいただきます。

右記QRコードよりアクセスしてください。



専用フォーム
応募はこちらから

◆ アーティストと日程の決定方法について

- 派遣アーティストは各学校の希望を踏まえ、文化財団登録アーティストや春日井市にゆかりのあるアーティストをご提案します。音楽・美術の分野で活躍している卒業生をご紹介した実績もあります。
- 原則として特定の演奏家の指名は受け付けていませんが、もし特別の希望があれば申込時に「その他の希望・質問」の欄に希望をご記入ください。
- 小規模校での複数学年合同実施など、柔軟に対応します。

◆ 申し込み・問合せ

公益財団法人かすがい市民文化財団

Tel : 0568-85-6868 (9:00-20:00／月曜休館 ※祝休日の場合は翌平日)

Mail : 音楽担当 art-door-mt@kasugai-bunka.jp

図工・美術担当 art-door-a@kasugai-bunka.jp

● 注意事項

- アーティストへの謝礼・交通費等は文化財団が全額負担します。学校側の金銭負担はありません。
- 応募多数の場合、前年度に実施していない学校に優先してアーティストを派遣します。
- 基本的に音楽は授業1時間単位、図工・美術は1～2時間単位で実施します。
- 音楽は音楽室で、図工・美術では図工室や美術室のほか武道場など内容に合わせた場所で実施します。

● 注意 「芸術鑑賞会」との違い

授業ではなく、全校行事としての「芸術鑑賞会」については、募集期間を設けず、
随時受け付けております。また、この場合、実施までのアーティストとの連絡や当
日の運営のサポートは文化財団が無償で行いますが、原則としてアーティストへの
謝礼は学校にご負担いただきます。まずはお気軽にお問い合わせください。



かすがい どこでも アート・ドア

アーティストと
一緒につくる

出前授業

【音楽・図工・美術】

音楽や図工の授業にプロのアーティストを招き、
「生で」「間近に」アートを“体感”

先生方が抱えるお悩みに寄り添い、教育課程に沿ったプログラムをご提案します。



● 音楽の実施例

文：元 かすがい市民文化財団プロデューサー（音楽）西野裕之

小学校6年生 教育出版社 小学音楽

「音楽のおくりもの」「ききどころを見つけて」

この単元では、「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第4楽章」（フランク 作曲）の鑑賞を通じて、子どもたちが曲の形式や構造を意識しながら音楽を味わって聴くことが求められています。

出前授業型のアート・ドアでは、アーティストが教科書に登場する楽曲を子どもたちの目の前で演奏します。CD音源ではなく、生演奏でこそ伝わる迫力や温度感を通じて、子どもたちと音楽との新たな出会いの場となることを目指しています。

ここがポイント！ アーティストによる楽器紹介

アーティストがそれぞれの楽器の仕組、奏法、特徴について実演を交えて解説する時間を設けています。子どもたちからの質問にその場でアーティストが回答する場面も！一方的な鑑賞や説明でなく双方向での授業進行で、子どもたちの音楽や楽器への興味・理解を深めます。

岩成台西小6年生の授業（2024年）



視覚的に鑑賞をサポート

この単元の難しさのひとつは、いかにして子どもたちが「曲の構造」を把握しながら演奏を聴けるようになるか、という点です。そこで、カノン形式の箇所では「どちらの楽器が先行しているか」など、演奏中に起きていることをリアルタイムでモニターに表示し、子どもたちの理解を視覚的に助ける工夫を行っています。（※映像の制作・操作は文化財団のスタッフが行います。）



丸田小学校6年生の授業（2025年）

子ども・先生の感想

・授業では教えてくれない楽器の細かな特徴や音の出し方など、いろいろなことが知れてためになったし、トークが面白かった。すごい一体感があって、心地よかった。（山王小6年）
・演奏を聞いて、もっと他の楽器のことが知りたくなったり、他の曲も聞きたくなったり。（中央台小5年）
・音楽が嫌いだったけれどアート・ドアを聞いて凄く楽しめたので、少し演奏してみたい気持ちになりました。（鷹来小6年）

・子どもたちが作曲者の紹介があるたびに音楽室の掲示物の中にその作曲者がいるか確認している様子や、演奏だけでなく、合間のお話も興味深く聞いていたり、印象的でした。（出川小教員）
・音楽にあまり興味がない児童でも楽しめるように、ピアノの手元を映してもらったり、解説をタイミングよく映してもらったり、大変ありがたかったです。（松原小教員）

● 鑑賞曲の例

小3	ドヴォルザーク：ユーモレスク、サン=サーンス：白鳥（ヴァイオリンorチェロ） ビゼー：組曲「アルルの女」より（フルート）
小4	モーツアルト：歌劇「魔笛」より（ソプラノ）
小5	長唄「越後獅子」富山県民謡「こきりこ節」（篠笛）
小6	フランク：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ（ヴァイオリンorチェロ） ガーシュウィン：ラプソディー・イン・ブルー
中1	ヴィヴァルディ：「四季」より春（弦楽三重奏）、「赤とんぼ」「浜辺の歌」（ソプラノ）
中2・3	ムソルグスキー：組曲「展览会の絵」（ピアノほか）

上記以外の曲目でも、教育課程に沿った内容をご提案できます。また、先生方からの「こんな単元ができないか？」などのご相談も承ります。

● 図工・美術の実施例

文：かすがい市民文化財団エデュケーション・アドバイザー
林 幸秀（元 岩成台西小学校校長）

「ことばから形・色」鷹来小3年（2023年）



①「読書感想画」の授業

「言葉から形・色」「言葉から想像を広げて」など、読書感想画の指導はとても難しいという声を小学校の先生方がよくお聞きます。言葉からイメージを広げることが苦手な児童が、そのことを絵に表すことはさらに難しいのが現状ではないでしょうか。

下書きの構図や色の塗り方などを専門家が具体的にアドバイスすることで、子どもたちだけでなく、ご指導される先生方にもお役に立てればと思います。

② 広い空間が必要な「造形遊び」の授業

子どもたちにとって楽しく感覚的に活動できる「造形遊び」は感性を育むためにとても重要だと思います。しかし、授業担当の先生だけでは準備から片付けまで考えるとやりたいけどやりにくい授業となっているのが現状ではないでしょうか。特にスケールの大きい空間での造形遊びをお手伝いできたらと考えています。



「みんなの秘密基地」神領小学校特別支援学級（2025年）

子ども・先生の感想

・プロの先生のおかげで作品が出来上がりました。たのしかったです。（鷹来小3年）

・作品を作っているとき、上手な子のまわりに集まって「さんこうにしてね」と声をかけてくれたのが良かったです。（神屋小3年）

・初めての道具や材料を使い嬉々とした姿がみられました。普段の授業より根気強く最後まで楽しく作業していました。（鷹来小教員）

・教員だけでは時間がかかる大掛かりな作品づくりができました。（神屋小教員）

・美術制作が得意・不得意な子がいますが、アートに触れ実践する場は大変貴重に思います。（あすなろ教員）

中学校

教育課程では「学習内容は生徒や学校の実情に合わせて、多様で創意あふれる独自の教材を使用してもよい」となっています。表現や鑑賞の指導方法や授業についてのアイデアについての悩みがありましたら、お気軽にご相談ください。授業のお手伝いも可能です。（風景画・人物画・イメージ画の指導、木彫・版画の手順、鑑賞授業の方法など）